



す。平成23年八女総合美術展（水墨画展）で、最高賞の八女文化連盟会長賞を頂いた時の感動と喜びは一入でした。平成24年には福岡県美術協会賞を頂き、年に一度の美術展が待たれるようになりまし。広川町水墨画研究会つゆ草会（樋口征男会長）では、四季折々にスケッチに出かけたり、広川町各小学校の課外授業で水墨画の指導をしたり、先輩方の作品を鑑賞したり意見交換するなど頑張っています。

ライフスタイルに合った趣味を通して、健康に感謝し、講師の指導を受けながら生きがい作りに有意義な時間を楽しんでいます。



広川町水原 池田 優子

ふとした縁で筆を握って14年になりました。今は個性を生かした自分流の創作を学んでいます。

八女茶で健康 第14回

冷茶を楽しむ場面を増やそう

～事例その1 「豆乳」に「冷茶」を注ぎ足す～

冷茶は作っておけばいつでもおいしく飲めることから、手軽で便利、さらに健康的と言われています。100円ショップには「お茶パック」が数種類売られています。お茶をこのパックに入れ、容器の水（好きな濃度になるように水の量を決める）に一晩寝かしておけば大丈夫という手軽さが人気となっています。冷茶は単にそのものを飲むだけでなく、いろいろな利用場面があります。



例えば「豆乳」はコレステロールがなく、良質なたんぱく質等があるので健康食品として飲みたいと思っている人はおられると思います。しかし、そのままでは飲みづらく感じる方もいて、コーヒー味やバナナ味の「豆乳」を飲んでいる人を見かけます。

そこで特徴的な味と香りのある「成分無調整豆乳」に冷茶を注ぎ足すと飲みやすくなることを紹介します。作り方は簡単、「豆乳」と「冷茶」を同じ量にして飲むというシンプルなものです。「豆乳」の特徴的な味と香りが薄く感じて気にならなくなります。「豆乳」と「お茶」が一度においしく飲みます。しかし「豆乳」に熱いお茶を注ぎ足すと湯温が上がるためか「豆乳」の特徴的な味と香りはそのままに感じます。一度お試し下さい。

「冷茶」を楽しむ方法はたくさんあります。お茶と色々なドリンクとあわせる挑戦をしてみたいはいかがでしょうか。面白いですよ。

福岡県茶生産団体連合会事務局長 仁田原 寿一

野鳥ウォッチング ⑳

ガビチョウの営巣

盛夏の夜明けに「ホイピー、ピーポー」とかん高い声でさえざるガビチョウ。

25cm程の長さで、眼のまわりが白く縁どられている。中国南部原産の鳥といわれ、矢部でも留鳥化しており、環境省の特定外来生物に指定されています。

矢部村 栗原 浩暢



夏の終わりを告げるツクツクボウシ。子供の頃はジュクジュクッションと言ひ、鳴き声を聞くど、宿題が残っているのに、もう夏休みも終わるか、寂しい気持ちになったことが思い出される。八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

今月の色



緋いろ

緋は火や日を表す「あか」と同じ意味でもあります。緋色は真緋、浅緋ともいい奈良時代には使われていた色名。視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



写真 安達 昇

19日は彼岸の入。「暑さ寒さも彼岸まで」のたとえ通り、暑くもなく寒くもなく一年で一番いい陽気です。当時小学校への通学路はほとんど田圃の中の細道だった。畦道には真っ赤な彼岸花（蔓珠紗華とも呼んでいた）が咲いていた。花形が異様でどぎつい赤色、触れるとつぶれる、根に毒があると聞いていたこと、更に集落の外れにある火葬場や墓地に咲くのを見ていたので子ども心に不吉な花として決して手にすることはなかった。近年は白や黄色の彼岸花も登場し、八女東部の棚田を背景に咲く彼岸花の群生は秋の風物としてPRされ多くの見物人を集めている。

こんにちは。八女警察署です。

⑳



こんにちは、八女警察署からのお知らせです。

みなさん「警察安全相談」という言葉をご存知でしょうか。警察では、事件や事故に至らないトラブルや悩みごと、困りごとについて、相談を受け付けています。

相談専用電話番号「#9110」へダイヤルしていただければ、問題の解決に向けて相談者の方の要望などを尊重しながら、様々な対応を行います。みなさんがおなじみの「110番」は緊急の事件・事故を受け付ける緊急通報用電話です。お急ぎでない問合せ、相談は「#9110」をご利用ください。

この番号にちなんで、警察では9月11日を「警察安全相談」と定めています。

最後に、次のとおり出張相談所を開設します。普段できない相談ごとなどがありましたらお気軽にお立ち寄りください。

日時 9月6日 午前10時から午後4時まで

場所 八女市黒木町 地域交流センター ふじの里 1階

祈禱院 八朔大祭典 花火大会

9月2日(金) 午後8時開始予定
雨天の時は9月3日(土)

祈禱院神社総代、祈禱院八朔祭典係

道の駅たちばな 柚子こしょう教室

9月22日(祝) 午前10時30分～午前12時
費用 1000円

持参する物 エプロン・包丁

梅干し名人でもある「藤和子さん」
柚子こしょうも人気で・・・
その柚子こしょうの作り方を
こそっとお教えします(笑)

申込締切は9月15日まで
*定員になり次第締め切らせてもらいます。

道の駅たちばな 立花町下辺春国道3号線沿
TEL 0943-37-1711

9月の道の駅たちばな